

I . 委託業務成果報告（総括）

厚生労働科学研究委託費（長寿・障害科学総合研究事業）
委託業務成果報告

高齢者の摂食嚥下・栄養に関する地域包括的ケアについての研究

業務主任者 戸原 玄 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科高齢者歯科学分野 准教授

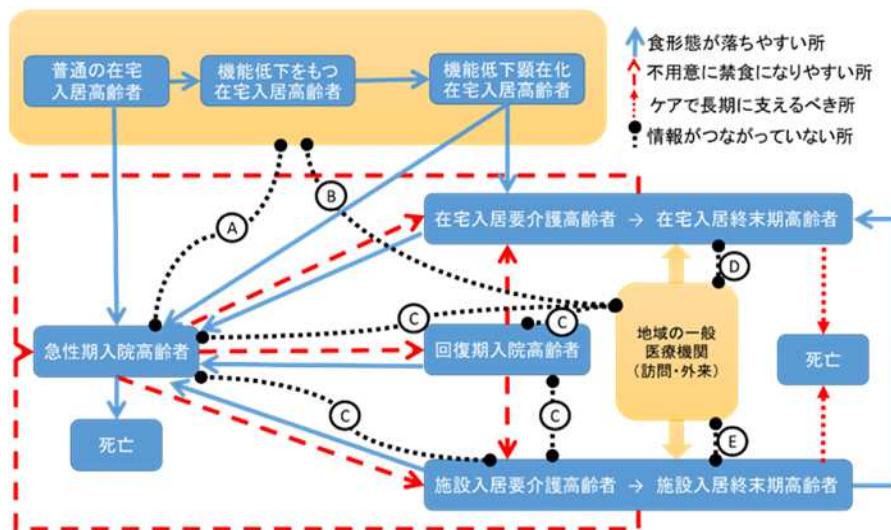
研究要旨

生活の場でできるだけ自立を続けたまま、摂食・嚥下に関して有効な支援を受けられる地域作りを目指すための足がかりとして、啓発を含めたアンケート調査と医療介護資源の明示化、モデルとなる有効な連携事例の調査を行った。

A. 研究目的

本邦では高齢者の摂食嚥下・栄養への対応は喫緊の課題である。リスクを有する者に対して多職種が連携して支援に取り組んでいる地域はあるが、地域の人材等有効資源が繋がらない地域が多い。有効資源調査もいくつか行われているが全国調査は認められない。

我々のこれまでの調査から、胃瘻患者の中に経口摂取開始可能な患者が多数存在する（服部、戸原ら2008、近藤、戸原ら2013）、経管栄養のまま退院しても経口摂取可能となるケースが多い（若杉、戸原ら2012）、胃瘻交換時のスクリーニングで1割から2割が誤嚥しない（近藤、戸原ら2013）、胃瘻造設後に回復期病院に移る患者は少なく、在宅、療養型病院、施設へ移る患者が多い（近藤、戸原ら2013）、在宅や施設入居者が入院して胃瘻造設後、退院後の経口摂取再開の可能性について情報提供されることはほとんどない（近藤、戸原ら2013）、などが明らかになった。また過去の報告から、嚥下障害の最たる原因疾患の脳血管障害後に早期の嚥下障害は多いが、半年後はほぼ残存しないことも示されている（Barer 1989、才藤 1991）。つまり嚥下障害は必ずしも永続的ではなく、地域にて経口摂取の可能性を適宜モニターできれば、多くの胃瘻、経管栄養患者が経口摂取を開始できる。これら患者の生活の質を大きく改善するとともに、医療経済的貢献も期待できよう。しかし軽度の患者も含め、“どの医療資源をどのように配置し、どのような連携を行うか”は地域により異なることが予想される。図1に摂食嚥下・栄養に関する高齢者の現状を示す。繋がりづらい情報は下記で、情報の質以前に、情報自体が繋がらない。



- A : 地域在住高齢者が急性期病院に入院する前の食事の情報
- B : 地域在住高齢者と地域の一般医療機関との間の摂食・嚥下の問題に関する情報（症状があっても相談できない、実際に症状が現れていることに気がつけない）
- C : 入院していた高齢者が地域に退院してきたときの摂食・嚥下の問題に関する情報（摂食・嚥下への支援が継続されない）
- D・E : 地域で暮らしている摂食・嚥下の問題を有する要介護高齢者と地域の医療機関との間の摂食・嚥下の問題に関する情報

本研究では生活の場でできるだけ自立を続けたまま、摂食・嚥下に関して有効な支援を受けられる地域作りの足がかりとして、啓発を含めたアンケート調査と医療介護資源の明示化、モデルとなる有効な連携事例の調査から、広報と実働を兼ねた啓発、教育活動を行うことを考えている。つまり情報提供を行うだけではなく、実際に地域の人材資源を動かし繋ぐことを考え、各調査は最終年度に向けて互いに関連を持たせることを目的としている。

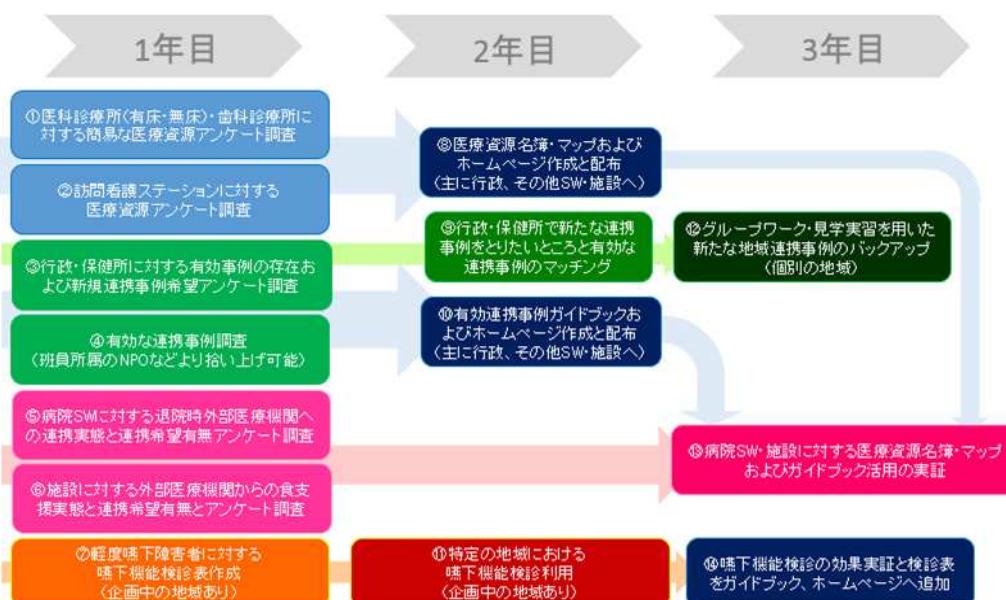
本研究の目的は、高齢者の摂食嚥下・栄養に関する問題に対応できる地域資源を明らかにしてマッピングし、行政や病院、関連施設の啓発を行い、有効連携事例モデルを提示して、連携が十分でない地域に新たな連携を構築し実践させることである。

B. 研究方法

摂食・嚥下に関する有効な医療資源を①②で調査。②は6千件強の調査なため訪問看護事業協会の協力を得た上で直接の調査が可能と考えるが、①は対象が17万件程度となるため、郵送ではなくウェブ調査を行う。尚、引き続く調査は2年目に作成予定の情報を直接入力できるホームページへ作成し、登録を呼びかけることを予定する。有効資源名簿とマップへの掲載可不可も確認。調査により訪問可能圏内をマップに反映できるため、当該医療過疎地域の明示につなげる。③は有効連携事例と新規連携希望有無調査でA-Eのどこがつながっているのか、もしくはどこをつなげたいのかを2千件強に対して調査。必ずしも行政・保健所が関連しない連携が不十分とはいえないが、地域行政にマップとガイドブックを作成する旨を周知しておく意味もある。

併せて、有効事例には2年目に作成する有効事例ガイドブックへの掲載可不可と、3年目に予定する実習への協力可不可、新規連携希望に対しては3年目の教育事業への参加希望有無を確認するが、実際の教育事業対象はごく少数に限られる旨も伝えておく。④は分担研究者が関与する現在進行形の有効連携事例についてA-Eのどこがつながっているのか、つなげ方の実例を紹介し、ガイドブックへの掲載、実習協力への承諾を得る。

⑤は7千5百件程度⑥は1万3千件程度のC・Eの連携状況の調査である。同時に2年目に医療資源名簿とマップ、ガイドブック配布予定を伝え、3年目の再調査への協力可不可を確認。⑦は主にA・Bでの利用を想定した検診表を作成するが、協力者の秋山（NPO法人白十字ボランティアの会理事長）、矢澤（東京都新宿区健康部副参事）らが新宿区で企画している75歳以上口腔機能検診表を参考にした。



(倫理面への配慮)

尚、当該研究においては地域をつなぐことが目的であり、患者データをとるものではないが、東京医

科歯科大学歯学部倫理審査委員会に審査をかけたところ、倫理審査不要との通知を受けている（受付番号 1168 番）。

C. 研究結果

結果の詳細は下記委託業務成果報告（業務項目）にゆづるが、平成 26 年度の調査結果から、有効な医療介護資源に関して 900 件強の施設から回答を得た。また有効連携事例については 10 地域の事例を収集、全国の病院および介護老人保健施設に対しての外部医療機関との連携状況の調査では 1,125 件の回答が得られた。尚、病院および介護老人保健施設への調査は実施したが、介護老人福祉施設への調査は来年度に実施する。⑦の軽度嚥下障害患者への検診表についてはほぼ完成し、また嚥下機能のみならず簡易な咀嚼機能の評価方法についても検討を行った。

尚、行政・保健所に対する有効事例の存在および新規連携事例希望アンケート調査③については、有効事例調査を優先し、それに基づいた調査票を作成したため、調査票による調査開始が遅れたことから、平成 27 年度にかけて実施することとした。

D. 考察

概ね初年度の調査は目的としていた結果が得られた。ただし、一部調査の実施が遅れたものがあるために、来年度早期に実施できなかった部分を開始することで計画していた目的を達成したい。

E. 結論

初期段階としての医療資源調査および外部医療機関との連携状況の調査、さらには有効連携事例の収集を行うことができた。本年度実施できなかった部分の早期の実施と、引き続く調査を今後行う予定である。

F. 健康危険情報

現在のところ報告すべき情報はない。

G. 研究発表

1. 論文発表（学術誌以外も含む）

1. 戸原玄:Opinion3.歯科医による訪問嚥下機能評価・訓練の実際, PDN 通信第 49 号:pp.7, 2014
 2. 矢澤正人：新宿ごっくんプロジェクトー地域における摂食嚥下機能支援システムの構築に向けて, Journal of Clinical Rehabilitation, 23(9), 852-861, 2014
-
- #### 2. 学会発表（学会以外の講演会も含む）
1. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 第 3 回大分県病院協会栄養部会研修会, ホルトホール, 大分市、大分県, 2015 年 2 月 28 日
 2. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 小田原市保健センター, 小田原市歯科医師会, 小田原市, 神奈川県, 2015 年 2 月 26 日
 3. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 第 23 回茨城県歯科医学会, 茨城県歯科医師会, 水戸プラザホテル, 水戸市, 茨城県, 2015 年 2 月 22 日
 4. Haruka Tohara: Oral Rehabilitation for Dentist, Rehabilitation in swallowing disorders seminar, Dental hospital, Khon Kaen University, Khon Kaen city, Thailand, Feb 18, 2015
 5. 戸原玄:口腔ケアや訓練的対応を踏まえた評価の仕方, 嚥下機能評価研修会, 第 9 回 PDN VE セミナー, NPO 法人 PEG ドクターズネットワーク, 石川県地場産業振興センター, 金沢市, 石川県, 2015 年 2 月 15 日
 6. 戸原玄:摂食・嚥下障害のアセスメント, 在宅歯科医療推進事業研修会, 熊本県歯科医師会, 熊本歯科衛生士専門学校, 熊本市, 熊本県, 2015 年 2 月 7 日
 7. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 広島県歯科医師会館, 広島市, 広島県, 2015 年 1 月 30 日
 8. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, メディケアフーズ展 2015, 東京ビッグサイト, 江東区, 東京都, 2015 年 1 月 29 日
 9. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 高齢者の食支援を考える会 設立1周年記念摂食嚥下講演会, 高齢者の食支援を考える会・所沢市歯科医師会 食支援ネットワーク委員会, 所沢市保健センター, 所沢市, 埼玉県, 2015 年 1 月 22 日

10. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 第1回東海摂食栄養フォーラム, 東海HEI和マニア, 今池ガスビル, 名古屋市, 愛知県, 2015年1月17日
11. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 平成26年度第2回摂食嚥下障害支援歯科医師養成研修会, 岐阜県歯科医師会, 岐阜県歯科医師会館, 岐阜市, 岐阜県, 2015年1月11日
12. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 平成26年度摂食・嚥下・食支援人材育成研修会, 鹿児島県歯科医師会, 鹿児島県歯科医師会館, 大島郡医師会館(サテライト会場), 鹿児島市, 鹿児島県, 2014年12月21日
13. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 第6回高知口腔ケアフォーラムーがん治療をささえる口腔ケアー, 特別講演, 高知大学医学部臨床講義棟第3講義室, 南国市, 高知県, 2014年12月13日
14. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 摂食嚥下セミナー2014, 岩手医科大学, 盛岡市, 岩手県, 2014年12月9日
15. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 医科歯科連携研究会2014, 東京保険医協会・東京歯科保険医協会・千葉県保険医協会, 東京保険医協会セミナールーム, 新宿区, 東京都, 2014年12月6日
16. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 富士見会, 愛媛県歯科医師会館, 松山市, 愛媛県, 2014年11月29日
17. 戸原玄:摂食・嚥下のアセスメント, 嚥下内視鏡検査実技・実習コースアドバンスコース, NPO法人歯科医療情報推進機構, 新宿NSビル, 新宿区, 東京都, 2014年11月20日
18. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際ー在宅での対応を考えるー, 歯科学術研究会, 三重県保険医協会, プラザ洞津, 津市, 三重県, 2014年11月9日
19. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 愛豊歯科医師会, 東京第一ホテル錦, 名古屋市, 愛知県, 2014年11月6日
20. 戸原玄:在宅医療におけるチームアプローチの重要性ー医療連携に基づく基礎知識の整理も含めてー, 平成26年度予防・在宅歯科医療等対応教員養成校集会歯科衛生士専任教員講習会V, 日本歯科大学東京短期大学, 千代田区, 東京都, 2014年10月25日
21. 戸原玄:口腔ケアや訓練的対応を踏まえた評価の仕方, 嚥下機能評価研修会・第4回PDN VEセミナー, NPO法人PEGドクターズネットワーク, 仙台国際センター, 仙台市, 宮城県, 2014年10月12日
22. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 口腔ケアと摂食嚥下リハビリテーションの基礎から実際, 第15回NHO栃木医療センター口腔ケア兼摂食嚥下セミナー, NHP栃木医療センター地域医療研修センター講堂, NHO栃木医療センター, 宇都宮市, 栃木県, 2014年9月30日
23. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際～地域を考えた摂食嚥下障害への対応～, 緩和ケアチーム, NST共催第10回東京医科歯科大学NSTセミナー, 鈴木彰男記念講堂, 東京医科歯科大学, 文京区, 東京都, 2014年9月26日
24. 矢澤正人:新宿区ごっくんプロジェクトー食べることの支援のまちづくりー, シンポジウム3地域の摂食嚥下リハレベルの向上と行政の関わり, 第20回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 京王プラザホテル, 新宿区, 東京都, 2014年9月6日
25. 戸原玄:より良く食べてよりよく生きる, 嚥下障害に係る市民公開講座, 岡谷病院, 岡谷市カノラホール, 岡谷市, 長野県, 2014年8月23日
26. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, NST口腔嚥下・歯科口腔外科特別講演, 信州大学医学部歯科口腔外科学, 信州大学医学部附属病院, 松本市, 長野県, 2014年8月22日
27. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 第4分科会高齢期の生き生きとした食生活, 健康生きがい学会第5回大会, 弘前医療福祉大学, 弘前市, 青森県, 2014年8月6日
28. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 藤枝歯科医師会講演, 藤枝市, 静岡県, 2014年7月17日
29. 戸原玄:よりよく食べてよりよく生きる, 藤枝市市民公開講座, 藤枝歯科医師会, 藤枝市, 静岡県, 2014年7月17日
30. 戸原玄:摂食・嚥下のアセスメント, 青森県歯科衛生士会平成26年度第2回生涯研修, 青森県歯科衛生士会, 青森刊行物産館アスピーム, 青森市, 青森県, 2014年7月13日
31. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 在宅歯科医療連携推進研修会, 富山県歯科医師会, 富山国際会議場, 富山市, 富山県, 2014年7月10日
32. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 口腔病学会例会, 東京医科歯科大学歯学部附属病院特別講堂, 文京区, 東京都, 2014年7月3日
33. 戸原玄:摂食嚥下障害の評価と訓練の実際, 第1回明正会多職種地域交流セミナー, 医療法人社団明正会,

亀戸文化センター, 江東区, 東京都, 2014年7月2日

H. 知的財産権の出願・登録状況
(予定を含む。)

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし